

## 【保護者の皆様へ】

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている冬休みです。友達や家族と楽しく過ごしたり、今年一年を振り返り、新年の目標を立てたりして有意義な時間になることを願っています。一方で、家で過ごすことが多くなることで、子どもたちがネットをする時間が増えてしまいがちです。また、ゲーム機にもSNSやネットが使用できる機能があるので注意が必要です。せっかくの冬休みにネット上のトラブルに巻き込まれないよう、以下の点についてご家庭で話題にしなが、ネットの使い方を確認しましょう。

## 「情報モラル」について、こうやって伝えよう

### ① ネット・情報機器の良い点、悪い点を伝えよう

良い点、悪い点を知ることが、便利なツールとして使うために大切なことです。



### ② 「～してはダメ」ではなく「～しよう」で話そう

ネットや情報機器は、今後ますますなくてはならないツールになります。よりよく使える力を身につけさせたいものです。



### ③ 子どもがどんなふうに使っているか関心をもとう

ネットや情報機器は、大人の世界にダイレクトにつながります。高い関心をもって子どもを守りましょう。



### ④ ネット・情報機器の事件を話題にしよう

日々変化していくのが、ネットや情報機器の社会です。積極的に話題にすることが、身を守ることに繋がります。



### ⑤ 家庭でのルールを作り守っていこう

ルールや約束事をしっかり作り、安全かつ快適にネットや情報機器を利用していけるようにしましょう。



### ⑥ 何でも相談できる雰囲気づくりをしよう

危険や落とし穴への警戒だけでなく、マナーや上手な使い方など、何でも相談できる家族や大人がいることが大事です。



「ネット社会の歩き方」  
(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)



特定非営利活動法人 ITサポートさが  
「情報モラル・情報セキュリティ  
【学習教材】」



※啓発漫画等の掲載があります。家庭で一緒に読んだり、読んだ感想を話したりしながら、一緒に考えてみてはどうでしょうか。

【児童生徒のみなさんへ】

### 画面に表示される情報が正しいとは限らない！

興味のある記事を読んだり、気になるワードで検索したりインターネットは使えば使うほど、個人の趣味嗜好に合う情報・報道・コメント・広告が目立つようにどんどんカスタマイズされていきます。たとえば…

❖ 検索したワードと類似するようなものが関連情報や広告として表示される

❖ SNSで「いいね」や「フォロー」をすると似たようなものがオススメとして表示される

目にする情報がかたよることから、「自分は正しい」「自分の考えは常識」という感覚が強くなりがちです。結果、正義感を盾に過剰な攻撃投稿をする人もいますが、これは言葉の暴力や制裁に加担することになってしまいます。

さらに、情報そのものが誤っていることや意図的に作られたウソの情報であることもあります。目にした情報をうのみにせず、多角的に確認することが大変重要です。いろんな情報を積極的にチェックしましょう！

#### 【チェック方法】

##### □ 他の情報と比べてみる

ネット検索し、複数の情報を読み比べましょう。本や新聞など、ネット以外で調べるのもお勧めです。

##### □ 情報の発信元を確かめる

発信元が明らかであっても、信頼できる人なのか、信頼できるWebサイトなのかを確認しましょう。

##### □ いつ頃書かれたものか確かめる

元の情報が古いものだった場合、現在とは状況が異なるかもしれないので注意しましょう。

##### □ 一次情報を確かめる

その情報が引用や伝聞だった場合は、元になったオリジナルの情報源を探して確かめてみましょう。



【総務省HP「インターネットトラブル事例集（2023年版）」より抜粋】

[https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/trouble/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/)

